

連載第47回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに

生きる・つながる・支えあう、よこはま

計画期間：2019（平成31）年度～2023（令和5）年度（5年間）

『横浜市自殺対策計画』を策定しました。



横浜市議員

たけのうち猛

<ご相談・ご連絡先>

公明党金沢支部事務所：

金沢区富岡西 3-38-1-101

TEL：080-9804-9782

FAX：045-345-4345

✉ info@takenouchi-

takeshi.com

http://www.takenou-

chi-takeshi.com/

【自殺の状況】

本市の自殺者数は、平成10年に急増し、平成11年には792人と過去最多に。平成22年以降は減少傾向となり、平成29年には495人となっています。同年の横浜市内での交通事故死者数51名と比較しても、いまだ多くの方が自殺で亡くなっています。

公明党横浜市議員団では、自殺対策の強化を最重点施策として議会で訴え、国に対しても要望してきました。こうした取組みを経て、総合的かつ効果的に自殺対策を推進していくための「横浜市自殺対策計画」が本年3月に策定されました。引き続き、公明党市議員団は「誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指して参ります。

目標

1 自殺死亡率の減少

人口10万人あたりの自殺者数を11.7以下へ

2 ゲートキーパーの養成 ※1

計画期間内に延べ18,000人が自殺対策研修を受講

※1 ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人のことで、言わば「命の門番」とも位置づけられる人のことです。

重点施策

1 自殺者の多い年代や生活状況に応じた対策を充実

2 自殺未遂者への支援を強化

3 若年層対策を推進

40～50歳代の自殺者数が全体の4割を超えること、30歳未満の自殺死亡率が減少しないこと、自殺者のうち自殺未遂歴がある方が2割を超えることから、対象者を明確にした具体的な3つの施策を掲げています。